

【資料4】 3 ページをわかりやすい内容にしています。

障がいのある人も、ない人も、安心していっしょに暮らせる社会をつくるため、できるだけたくさんの障がいのある人に、熊本県が開く会議の「委員」として参加していただく取組を始めました。



『 どうして？ 』

- 障がいのある人、ない人、いろいろな意見が出たり、参加している人みんなで一緒に考えたり、とても良い話し合いができます。



『 そしたらどうなるの？ 』

- ① 障がいのある人の考えが、県のこれからの取組にしっかり活かされるようになります。
- ② 障がいのある人が社会と関わる機会が増えたり、活躍する所が増えたりします。

(令和7年度には、熊本県の17の会議に、24人の障がいのある方が選ばれていて、とても活躍する所が増えました。)

今日、参加してどのようなことを感じましたか。

また、これから熊本県に、もっと障がいのある人の考えを聞いてもらうために、どのようなことに取組んでほしいですか。